

企業局の危機管理について ~施設の耐震化と経験力や技術力の継承~ 渡邊一夫氏 × 中島敏之氏

元県企業局長

元県企業局長



いばらきの公共事業を紐解く

中継水道事業体の締結

私は2012年(平成24)年4月、渡邊前企業局長の後任として着任いたしました。6年間、企業局長として在職しましたが、この間に所管する水道用水供給事業、工業用水道事業、地

つば市北東部の上野、公共用としては最初の「つくばヘリポート」があります。敷地面積は約3.1ha。平成3年に開港しています。東京までの飛行時間は約20分。防災、警察等の行政用途他、航空写真撮影や報道ヘリコプターなどの着陸地として利用されてきました。このヘリポートの管理は、格納庫事業も含めて企業局が行っておりまして、私は主務、企画部時代、このヘリポート建設に大いに関わったため、懐かしい場所なのです。今回は、東日本大震災の応急復旧の目録がついた後、震災の教訓を受け、特にみなんで頑張った何点かについてお話をし、企業局長・企業公社理事長編を締めさせていただきます。(弊社HP「トピックス」に掲載)



最初は、災害査定についての手続きについても初めてです。企業局では、今回の震災まで大きな災害を受けた経験がなく、災害査定

最初は、災害査定についての手続きについても初めてです。企業局では、今回の震災まで大きな災害を受けた経験がなく、災害査定

三つの工業団地に優良企業を誘致すべく積極的に活動した結果、アイリスオーヤマ(株)やフナコ(株)などの工場誘致に成功し、所有する工業団地を完成させることができました。



▲地震などの非常時に活躍する給水車

送っている鹿島浄水場と、那珂川左岸地域の企業群に工業用水を送っている那珂川浄水場の2箇所に設置することをしました。さっそく予算化し、平成25年、26年には完成しています。

茨城の公共・公益事業 ~歴史をたどり、後世に残す~ 県企業局長・企業公社理事長編⑧

管路320kmを10年で耐震化

が、大部分ストックしておいたので大変役に立ってくださりました。断水しているときは、給水車とペットボトルの出番です。企業局でも、1年前から3台の給水車を用意しておきました。困っていた市町村への支援は、もちろん、病院の透析患者さんへの命の水もお届けできたので、本当に良かったと思います。ペットボトルも必要に応じて届けること



東京都の吉田水道局長と協議を重ね、覚書の締結に至りました。

中島 敏之(なかしま としゆき) 1952年12月27日生まれ。71歳。75年に入庁し、県南農林事務所へ配属となった。その後、地方課、財政課、秘書課などに勤務。人事課長、理事兼政策審議監、総務部長、企業局長などを歴任。2018年3月に退職。現在は社会福祉法人茨城県社会福祉事業団の理事長を務めている。

本水道協会が定めたもので、その役割は①遠方からの応援隊の移動に際し、車両の待機場所や応援隊員の休息場所を提供する事業体②広域災害等で被災地の状況が明確でなく、応援先を確定できない場合に、当面の目的地となる浄水場を持つ事業体のことです。東京から茨城、あらかじめ決めておいた中継地対策施設(場所は浄水場が中心になります)が、その場所を当面の目的地として支援部隊が結集し、被災地を支援しようとするものです。

地域開発に貢献した91年、これからも私たちの活動が拡がり続けます

Advertisement for Kokuetsu Construction Co., Ltd. featuring various construction projects and services. Includes images of schools, hospitals, and residential buildings. Text: 幸武建設株式会社 幸武グループ